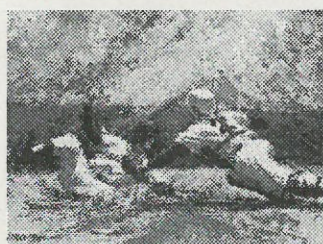


2015自治労野球大会渡島予選(6/20-21)

函館市職労チーム 接戦を制し11年ぶりブロック優勝!

～全道大会への勝ち上がりは2004年大会以来 昨年初戦敗退の悔しさをバネに発奮! / 夏祭りだ! 市職連!! 日程決定～



6月20日(土)、21日(日)ここ函館を舞台に南茅部運動公園野球場と根崎公園野球場で第49回全道自治体職員等野球

選手権大会渡島地方本部予選大会が開催され、14チームの参加のもと全道大会出場をかけ、熱い戦いが繰り広げられました。

市職労からも多数の組合員・野球部OBが参加し応援や運営に協力をいただきました。

☆

函館市職労は函館開催等の関係もあり、1回戦目はシードとなり、大会2日目の準決勝からの戦いとなりました。

準決勝は、前日、七飯町労連を7対6の接戦の末勝利し、チーム全体勢いに乗っている木古内町労連との対戦になりました。

函館市職労は、初回、先頭の不京選手がヒットで出塁すると、続く伍楼選手のスリーベースヒットなどで一挙に3点を挙げ、試合の主導権を握りました。

一方、木古内町労連はその裏、秋庭選手のヒットでチャンスを広げましたが、得点へと結びつけることは、出来ませんでした。

その後、函館市職労の打線が爆発し、足を絡めた攻撃もあわせ得点を重ね一方的な展開となり、20対0の5回コールドで圧勝し、決勝戦へと駒を進め、昨年の1回戦敗退の屈辱をチーム一丸で晴らしました。

決勝戦の相手は、2年連続で決勝まで勝ち進んできた古豪森町職労となり、試合前から一進一退の投手戦が予想されました。

緊迫する空気が流れる中始まった試合は、森町職労が初回、函館市職労の先発、澤田投手の立ち上がりを攻め、一死一・三塁のチャンスから市職労のエラーもあり、1点を先制されました。

追う形となった函館市職労は、2回、毛利選手が二塁打で出塁すると、一死満塁から1点を取り同点に追いつき、その勢いで3回に1点を取り逆転に成功、8回にも1点を追加し、試合の主導権を握りました。

函館市職労先発の澤田投手は、1回立ち上がりの1失点の後は、森町職労の強力打線を要所できっちり抑え得点を与えず、9回まで投げきり、結果3対1で森町職労を破り、函館市職労はAブロックで優勝を果たし、9月11日(金)に釧路市で行われる全道大会への出場が決定しました。全道大会への出場は25回目。

優勝は、2004年以来11年ぶり、全道大会には、地元開催での出場を除き、2004年の江差町で開催された大会に出場して以来したとなります。

☆

<函館市職労の個人賞は以下のとおり>

最優秀選手賞 澤田 修 選手
敢闘賞 毛利 隆 志 選手
優勝監督賞 竹林 唯一 監督

<緊急速報!>

夏祭りだ! 市職連!!

例年、恒例の「夏祭りだ! 市職連!!」を今年も8月7日(金)に開催いたします。

職場の同僚や仲間ご家族と一緒に参加していただき、日頃の懇親交流を一層深めていただきたいと思います。

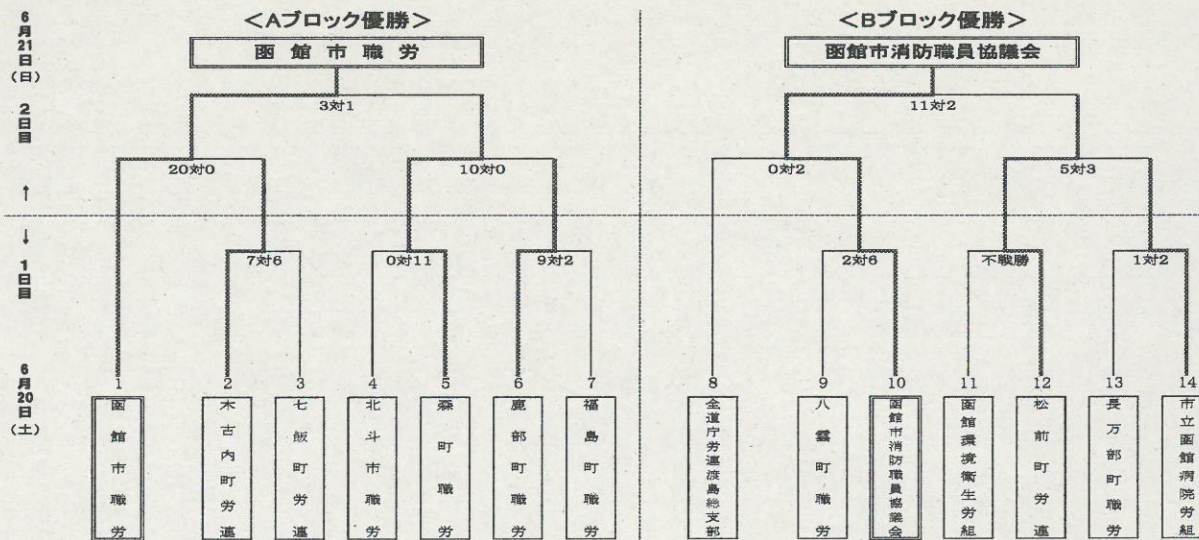
※ 詳細につきましては、後ほど「こどろ」にて、お知らせいたします!



第49回 全道自治体職員等野球選手権大会 渡島地方本部予選大会トーナメント表

日時 2015年6月20日(土)～21日(日)

開会式 函館市:南茅部運動公園広場野球場 8:45～



Aメイン球場=南茅部運動公園広場野球場

Bサブ球場=根崎公園野球場

時々労働者が勝つことがあるが、ほんの一時的にすぎない。たかひの本当の成果はその直接的な成功ではなくして、労働者のますます拡がり行く団結である。